

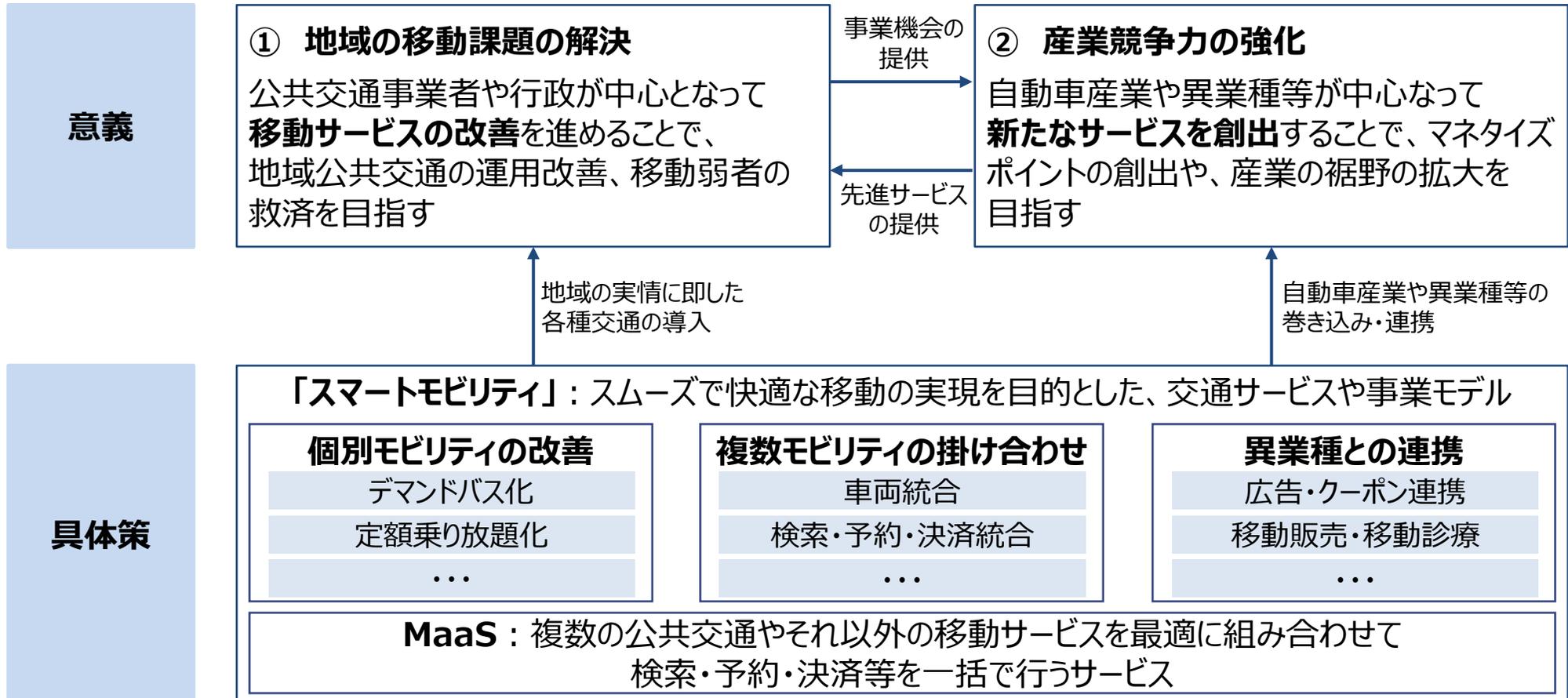
# スマートモビリティチャレンジの成果と課題・ 来年度の方向性

令和6年3月

経済産業省 自動車課 モビリティDX室

# スマートモビリティ及びMaaSの意義

- 我が国においてスマートモビリティやMaaSの取組を推進することは、「地域の移動課題の解決」と「産業競争力の強化」という大きく2つの意義があるものと認識。
- 一般的な「スマートモビリティ」や「MaaS」の定義は様々だが、本事業ではこれまで、「前者の観点に比重を置きながら」、幅広い取組を支援してきた。



# 5年間の取組の「事業成果」と「残存する課題」

- 過去5年間の取組を通して、「地域の移動課題の解決」については**一定の成果**を得た。ただし、「単年」「数千万円単位」「先進的な事業者が対象」の支援では、実装に向けた限界も。
- 一方で、「産業競争力の強化」については**取組事例の創出が限定的**で、成果は不十分。

<p><b>意義</b></p>	<p>① <b>地域の移動課題の解決</b></p>	<p>② <b>産業競争力の強化</b></p>
<p><b>5年間の事業成果</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プレイヤーやサービスの掘り起こしが進み、62地域を採択し、9地域で<b>実装</b>に至ったほか、のるーと、チョイソコ、ゴイッショなど、<b>全国的な横展開に繋がる取組も生まれる</b></li> <li>・ 実装に至らなかった取組についても、「<b>実装に至らない取組類型、理由</b>」を整理</li> <li>・ これらの分析を通じて、<b>横展開に向けた手法論・ツール群を整備</b>（知見集、「スマつく」）</li> <li>・ 産官学の連携の場として、<b>スマモビ協議会は382団体規模へ拡大</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ チョイソコ（アイシン）、ゴイッショ（ダイハツ）など、自動車メーカー・サプライヤーが<b>サービス提供にチャレンジする事例</b>が生まれた</li> <li>・ <b>異業種（商業、医療、観光等）と連携し、地域社会・経済そのものの活性化を目指す事例</b>が生まれた</li> </ul>
<p><b>残存する課題</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「単年」・「数千万円」・「先進的な事業者のみ対象」の支援では、<b>実装に向けた社会受容性・事業正・実施体制の向上に限界がある</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ①と比べると、<b>取組事例の創出が限定的</b></li> <li>・ 中山間地域での取組だけでは、<b>自動車産業の産業競争力に与えるインパクトが限定的</b></li> </ul>

⇒ 現行の支援の枠組み（金額、要件等）を続けるままでは、**双方の類型において中途半端な成果しか見込まれず、来年度に向けて、本事業の支援の比重の置き方とそれを担保する要件等について、再考が必要。**

# 1) 地域実証

- 令和6年度の地域新MaaS創出推進事業はテーマを一本化し、**産業競争力の強化**を目的に据える。

全体  
テーマ

モビリティを活用した新たなビジネスモデルの実証

目的

将来的な技術の進歩も見据え、地域の移動課題の解決を図りつつ、新たなモビリティサービスの導入や異業種連携、データ利活用等の取組により、モビリティ関連産業の裾野拡大、競争力強化に繋がる新たなビジネスモデルを創出すること

公募  
対象

以下のいずれか、もしくは複数の成果が期待される取組

- ① 将来的な自動運転の普及も見据えたサービス・ビジネスモデルを実証し、想定される効果や乗り越えるべき課題を整理すること

※自動運転に関しては、「将来的な自動運転の活用を見据えたビジネスモデル」の検証が主であり、自動運転車両の運行費は本事業の委託費の対象外（＝自動運転の技術実証は対象外）

- ② 法規制等の課題によりこれまで具体化が進んでこなかったサービス・ビジネスモデルを実証し、想定される効果や乗り越えるべき課題を整理すること  
（モビリティ×医療、観光、小売、物流、エネルギー、データ等）

- ③ 自動車完成車メーカーや部品メーカー、ディーラーなどの新たなビジネス機会を創出する取組を実証し、想定される効果や乗り越えるべき課題を整理すること

- ④ その他、目的（将来的な技術の進歩も見据え、地域の移動課題の解決を図りつつ、モビリティ関連産業の裾野拡大や競争力強化に繋がる新たなビジネスモデルを創出する）に沿った新たなビジネスモデルや、スマートモビリティによる新たな地域課題解決のサービス・ビジネスモデルを創出すること

## 2) 事務局分析

- これまでの事務局分析の内容の「まとめ」として、スマートモビリティの事業モデル類型や、各事業モデルにおいて必要な関係主体、導入検討における「成功の分かれ道」を分析・整理する。

テーマ	① <b>スマートモビリティの事業モデル類型と関係主体の整理（仮）</b>	② <b>スマートモビリティの導入検討における「成功モデル」と「つまづきモデル」(仮)の類型化</b>
分析のゴール	<ul style="list-style-type: none"><li>・ スマートモビリティの事業モデルについて、代表事例における<u>収支モデル</u>や<u>法規制上の課題</u>なども含めて整理できている</li><li>・ <u>各事業モデルにおいて必要な関係主体</u>（MaaSコーディネーター等）を整理できている</li><li>・ <u>上記の内容を「スマつく」の増補で一般公開</u>できている</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 成功（つまづき）を類型化するための<u>パフォーマンス ベンチマークを提案</u>する</li><li>・ 成功（つまづき・パフォーマンス）と関連要因（例：交通システムの特徴、人口社会学的特徴、サービスの展開方法）との<u>関係を表すモデルを構築</u>する</li><li>・ 展開する際に<u>成功（パフォーマンス）を最大化するためのアドバイスを体系化</u>する</li></ul>
分析方法	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 過去採択地域や、その他先進地域に対するヒアリング</li><li>・ 各地域に関わりのある有識者との意見交換</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ モビリティサービスを広範囲（パフォーマンスがよくないところから、非常に優れたところまで）に導入した地域を選択する</li><li>・ 関連対象者へのインタビューを実施し、関連データ（例：導入履歴など）を収集する</li></ul>

### 3) スマホ協議会運営

- 取組の裾野を広げる活動として、スマホ協議会運営を継続し、新たな取組として「協議会会員に対する伴走支援活動」を追加する

対象	取組	具体施策（タスク）
自治体 交通担当・ DX担当等	①会員向け情報発信（継続）	<b>メールマガジンの運用</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Smart Mobility Challengeの定期的な情報配信を行う</li> </ul>
	②会員向けイベント開催（継続）	<b>スマホ体験会の実施</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Smart Mobility Challenge内で事業実績のあるエリアへの誘引を図り、知見を深めることを目的に、全国数箇所を実施。</li> </ul>
	③個別相談会の実施（継続）	<b>個別相談会の実施</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>主に自治体や交通事業者の担当者向けに、個別の相談会により交通関連事業の相談を受けて他地域の事例紹介や個別事案に対する助言を実施。</li> </ul>
全対象	④基礎自治体向けアプローチ ⇒伴走支援（変更） ※詳細後述	<b>将来構想の策定～実証実験計画作成の支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>数年以内に実証実験を行いたいと考えているものの具体的な構想が定まっていない地域を対象に、構想策定や実証実験計画の策定を支援。</li> </ul> <b>実証実験における利用者ニーズ分析・実証計画改善</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>過去に実証実験を行い、利用者数不足に直面した地域について、利用者とのコミュニケーションを深める施策や、その内容を踏まえた実証実験計画の修正を支援</li> </ul>
	⑤地方経産局イベント支援 ⇒シンポジウム開催（変更）	<b>経産省主催のイベントの開催</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地方経産局のシンポジウムを本省での一括開催に変更し、本事業の紹介や過去採択事業の事例紹介などを実施</li> </ul>
	⑥スマートモビリティの創り方 （通称スマつく）の作成 ⇒同・改訂（変更）	<b>スマートモビリティの創り方（通称スマつく）の改訂</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>事例集の拡充や、「よくあるつまづき」とその対応方法の紹介など、読者のニーズに応じて改訂を実施</li> </ul>

## 4) 協議会会員に対する伴走支援活動

- これから構想づくりに取り組む地域や、実証段階で伸び悩む地域を対象として、過去の知見を活かした伴走支援を実施する

支援内容	①将来構想の策定～実証実験計画作成	②実証実験における利用者ニーズ分析・実証計画改善
支援の目的・ゴール	数年以内に実証実験を行いたいと考えているものの <b>具体的な構想が定まっていない地域</b> について、サービス内容や効果目標、想定ユーザーといった <b>具体的な構想や実証実験計画が完成している状態</b> を目指す	過去に <b>実証実験を行い、利用者数不足に直面した地域</b> について、 <b>利用者とのコミュニケーションを深める施策や、その内容を踏まえた実証実験計画の修正</b> を通じて、 <b>効果検証等を十分に行える状態</b> を目指す
具体的な支援方法	定例会議（隔週程度） 検討に用いるワークシート等の提供、記載におけるアドバイス（議論への参画、過去事例の紹介など） その他、地域での実施・検討事項に対するアドバイス	ワークショップ・インタビューの企画・運営・取りまとめ支援 上記内容を踏まえた <b>実証実験計画の修正に関するアドバイス</b> （利用者ニーズを踏まえたサービスの改善点など） その他、地域での実施・検討事項に対するアドバイス
対象地域	スマートモビリティの取組を進めたいと考えているが、 <b>具体的な構想が定まっていない地域</b>	過去3年以内にスマートモビリティ関連の実証実験を行った経験があり、かつ本年度実証実験を行う予定がある地域 ※経済産業省「地域新MaaS創出推進事業」に限らない

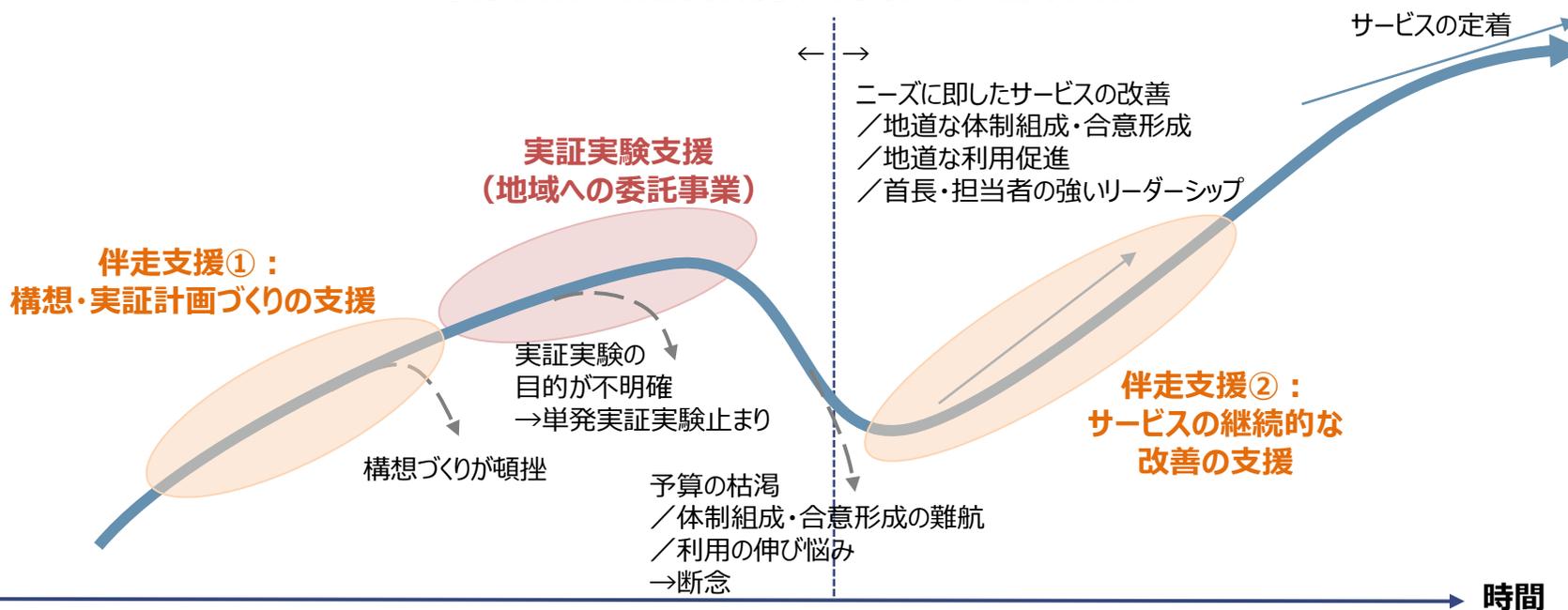
# 参考) 構想から実装までの各段階における支援のあり方

- 先進事例を創出する経産省事業と、実装への転換を図る国交省事業という分担に加え、これから構想づくりに取り組む地域や、実証段階で伸び悩む地域については、協議会活動の一環として伴走支援を実施予定。



社会受容性・事業性・推進体制

事務局分析：「実証から実装」の成功例と「つまづき」例の分析



# 参考資料

# 「スマートモビリティチャレンジ」の成果（要旨）

2019年  
先進事例

2024年  
先進事例

国内 ●-----○

- （本事業以外も含め）5年間で様々なモデルの実証・実装が進展

		構想	実証	実装 (限定地域)	実装 (普及)	2024年時点の状況	
取組類型	個別モビリティの改善	ルート形態	デマンド	●-----○		多くの地域で実装。高度化に向けた異業種連携等の取組も見られる	
		運転手	一般ドライバー	●-----○		一部地域限定で、乗合タクシーや自家用有償として実装	
			無人運転	●-----○		レベル4が永平寺町で実装。今後、実装に向けた取組が加速する見通し	
		価格形態	定期制			●--○	従来より各社で採用されてきたが、自家用有償等の新興モビリティにも採用
			変動運賃制	●-----○			鉄道や高速バスに続き、乗合交通（観光MaaSやタクシーのアプリ配車）でも一部で導入
	複数モビリティの掛合せ	物理統合	時間帯による事業形態・ルート形態の可変	●-----○			基山町、恩納村等で、一台の車両を複数目的で活用する事例が創出
			複数施設間の共同送迎	●-----○			三豊市等で、介護施設間の共同送迎サービスが実装
		仮想統合	検索+予約+決済機能の統合	●-----○			一部自治体や鉄道沿線等で、単独自治体/広域のMaaSアプリが実装
			複数交通サービスを束ねた定額使い放題化	●-----○			八重山諸島等、観光等の一部目的で導入される事例が創出
	異業種との連携	仮想統合	広告・クーポン連携	●-----○			車内外広告に続き、アプリでの広告・クーポン掲載や、商業事業者自らが収支責任を負う事例も創出
			イベント連携	●-----○			福祉施設や病院等でのイベントによりモビリティの利用促進を図る事例が複数実装
		物理統合	車両と物流サービスの融合	●-----○			交通・物流事業者同士で連携が実証されてきており、自治体の進出も加速
			車両と商業施設の融合	●-----○			帯広市で実装
			車両と医療・福祉サービスの融合	●-----○			伊那市・大台町等で実装が進む
	データ利活用		●-----○			交通分野でのユースケース具体化や、収支モデルの詳細化が進む	

# 「スマートモビリティチャレンジ」の成果（要旨）

セル凡例：実証中 実装済

● 参考）過年度の採択→実装地域は、比較的人口規模の小さい都市で、デマンド化や車両共通化等によって地域課題を交通の側面から解く事例が中心であった

人口規模	個別モビリティの改善	モビリティ同士の掛合せ	異業種との連携
大  境界：20万人	<div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R4：名古屋</div>  <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R3：仙台</div>  <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R1：大分</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R1：大津</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R2：尾三</div>	<div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R5：福岡</div>  <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R1,2：静岡</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R1,2,5：新潟</div>  <div style="background-color: #a0c0e0; padding: 2px; display: inline-block;">R1：前橋</div>	<div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R3：大阪</div>    <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R1：豊田</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R2：町田</div>
	<div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R3,4：入間</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R4：大山</div>  <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R3：室蘭</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R5：館山・南房総</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R2：湖西</div>  <div style="background-color: #a0c0e0; padding: 2px; display: inline-block;">R3,4：北谷</div>  <div style="background-color: #a0c0e0; padding: 2px; display: inline-block;">R1,2,3：永平寺</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R3：基山</div> <div style="background-color: #a0c0e0; padding: 2px; display: inline-block;">R1：肝属郡</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R5：吉備中央</div>  <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R4,5：川西</div>	<div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R4：塩尻</div> <div style="background-color: #a0c0e0; padding: 2px; display: inline-block;">R2,3：三豊</div>    <div style="background-color: #a0c0e0; padding: 2px; display: inline-block;">R2：庄原</div>  <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R1,4：浪江</div>  <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R3：美郷</div>	<div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R3：帯広</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R3：播磨</div>  <div style="background-color: #a0c0e0; padding: 2px; display: inline-block;">R1,2,3：会津・日立</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R3,4,5：三重6町</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R5：焼津</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R2：北広島</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R2：常滑</div>  <div style="background-color: #a0c0e0; padding: 2px; display: inline-block;">R5：八重山</div>  <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R2：養父</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R4：伊予</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; display: inline-block;">R4：恩納</div>  <div style="background-color: #a0c0e0; padding: 2px; display: inline-block;">R4：江差</div>

# Smart Mobility Challenge

スマートモビリティチャレンジ